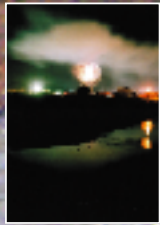


天神川水系の将来に向けての川づくり



撮影：伊東 晴美さん



撮影：西村 文伸さん



撮影：山根 将敏さん



撮影：米原 季雄さん

「天神川水系河川整備計画（原案）」
についてのご意見募集

国土交通省 倉吉河川国道事務所が管理する天神川水系の

※1「天神川水系河川整備計画」を策定します。

河川整備計画は、地域住民の「安全」や「河川環境」など直接関わることなので、皆様の意見をお聞きしながら策定を進めていきます。この度、「天神川水系河川整備計画」の原案ができましたので、これを元に、天神川流域にお住まいの皆様の、様々なご意見をお聞かせ下さい。

※1「天神川水系河川整備計画」って？

治水、利水、環境等に関して今後20年から30年後に向けた河川整備の具体的な目標を定め、個別事業を含めた内容を策定するものです。

■天神川河川整備の基本理念

・いつまでも安心・安全を確保できる川づくり

天神川水系全体で、戦後最大規模の洪水を安全に流下できる川づくりを目指します。

・美しい水辺を取り戻し 人と自然にやさしい川づくり

以前の天神川の姿を回復し、人と自然にやさしい川づくりを目指します。

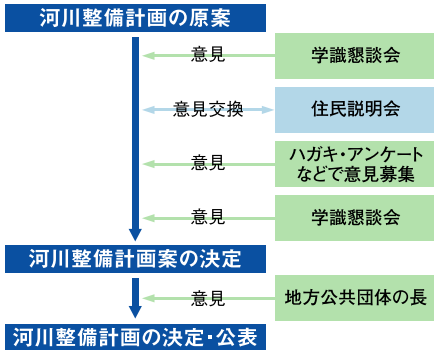
・人が集い地域に活力を 創造する川づくり

天神川を中心として人々の連携を深め、地域の活力をばぐも場としての川づくりを目指します。



撮影：磯江 一美さん

■天神川水系河川整備計画策定の流れ



天神川流域図



【凡例】 国管理区間

天神川について

天神川はその源を津黒山(1,118m)に発し、三徳川等の支川を合わせて北流し、倉吉市街地で国府川、小鴨川と合流し日本海に注ぐ鳥取県三大河川のひとつです。

■概要

流域面積	490km ²
幹川流路延長	32km
流域内人口	約6.6万人

皆様のご意見をお聞かせください

本誌では概要を説明していますが、天神川水系河川整備計画（原案）についての詳しい内容は国土交通省 倉吉河川国道事務所で見たいだけ、ホームページをご覧ください。（※事務所以外での縦覧場所についてはお問い合わせ下さい。）内容を正確に確認の上、ハガキ裏面に意見等をご記入し、切り取ったうえ、切手を貼らずに郵送して下さい。たくさんのご意見をお待ちしています。

天神川水系河川整備計画（原案）の縦覧場所及びホームページアドレス
国土交通省 倉吉河川国道事務所
http://www.kurayoshi-mlit.go.jp/tkasen/
天神川水系河川整備計画 検索

ご意見募集期間
平成20年
3月24日(月)まで

〒682-8790 (受取人)

鳥取県倉吉市福庭町1-18
国土交通省
倉吉河川国道事務所
調査設計第一課 行

〈裏面に意見を記入してください〉

〒682-8790

〒682-8790

〒682-8790

〒682-8790

〒682-8790

〒682-8790

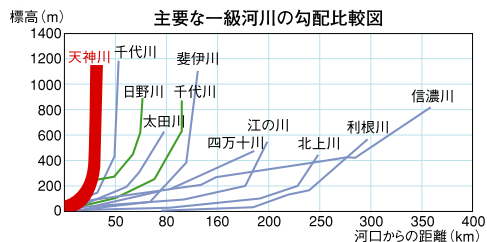
〒682-8790

お住まい	市町村名	地区名
性別	男	女
年齢	①20歳未満 ②20～29歳 ③30～39歳 ④40～49歳 ⑤50～59歳 ⑥60～69歳 ⑦70歳以上	
職業	①会社員 ②公務員 ③自営業 ④会社経営者 ⑤商工サービス業 ⑥農業 ⑦林業 ⑧漁業 ⑨専業主婦 ⑩パート・アルバイト ⑪中学生 ⑫高校生 ⑬その他()	
ご質問	天神川流域に何年お住まいですか？または、住んでおられましたか？ ①1年未満 ②1～5年未満 ③5～10年未満 ④10～20年未満 ⑤20～30年未満 ⑥30年以上	

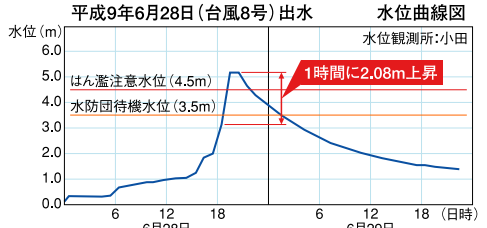
天神川の治水

天神川は中国地方屈指の急流河川です。また市街地で天神川、小鴨川が合流しているため、短時間で水位が急上昇し、洪水の危険性が高くなっています。

1) 川の勾配が急



2) 短時間で水位が急上昇します



天神川的主要な近年の洪水

- ・昭和9年9月20日(室戸台風) 推定流量 3,500m³/s、破損・浸水 約7,300戸
- ・昭和34年9月20日(伊勢湾台風) 推定流量 2,200m³/s、破損・浸水 135戸
- ・平成2年9月19日(台風) 推定流量 1,700m³/s、破損・浸水 なし
- ・平成10年10月19日(台風) 推定流量 1,800m³/s、破損・浸水 53戸



河川利用

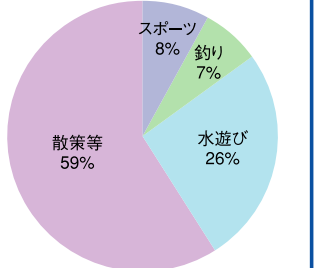
天神川はこんな川

川にたくさんの草木が繁茂

倉吉市街地周辺の河川敷が活発に利用されたり、5箇所に整備された「水辺の楽校」では環境学習等が行われています。また、天神川フォトコンテストの開催や、一斉清掃などの美化活動等川を通じた地域連携活動の場としても活用されています。一方、生い茂った草木のために、水辺へ近づくことが出来ない箇所も存在し、人と河川のふれあいの場の減少をまねいています。



■天神川水系の河川利用状況



自然環境・水質

1) 中下流域(国管理区間)

中流域はアユやカワムツ、カジカガエルなどが生息しています。中州が発達しオニグルミ、ヤナギなど樹林化が見られます。下流域では一部砂州やワンドが見られ、ヨシ、ヤナギなどの植物が分布しています。

2) 河口部周辺

河口砂州はコアジサシの生息地となっています。また周辺の水面はコハクチョウの越冬地となっています。

3) 水質

全国有数の清澄な河川です。



天神川水系 河川整備計画(原案)の あらまし

基本理念は、平成18年度に説明会などを通じアンケートを行い、寄せられた1,500通以上の意見を反映しています。



撮影：磯江一美さん

治水 いつまでも安心・安全を確保できる川づくり

現状と課題

- 目標流量に対し天神川では河口の一部や三徳川合流点上部において一部不足。小鴨川や国府川では市街地区間について不足している箇所が存在。
- 急流河川のため、洗掘や河岸崩壊を受けやすい。
- 堤防の建造年代が古いものについては漏水対策等の質的強化が必要。

目標

昭和34年伊勢湾台風(戦後最大規模)洪水、平成10年台風10号洪水に相当する洪水の安全な流下を旨とします。
(小田地点計画高水流量 2,600m³/s)

水位が上昇し、被害が想定される箇所及び浸透や洪水に対する安全性の面から整備を検討し実施します。

実施手順

水位が上昇し、被害が想定される箇所への取組

《堤防整備》

堤防高、堤防断面不足箇所の抽出

築堤

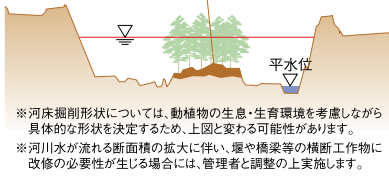


・洪水があふれないようにする

《河積確保》

計画水位を上回る水位上昇箇所の抽出

河床掘削(樹木伐開含む)



※河床掘削形状については、動植物の生息・生育環境を考慮しながら具体的な形状を決定するため、上図と変わる可能性があります。
※河川水が流れる断面積の拡大に伴い、堰や橋梁等の横断工作物に改修の必要性が生じる場合には、管理者と調整の上実施します。



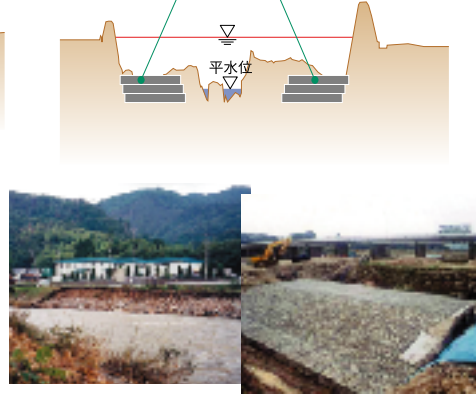
・河床掘削や樹木伐開により洪水時の水位を下げる

浸透や洪水流に対する安全対策についての取組

《河岸保護》

河岸保護の必要な箇所の抽出

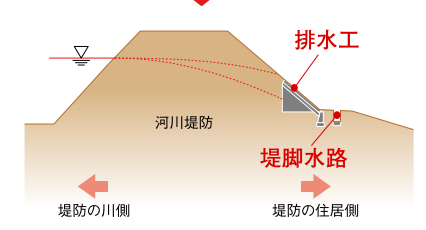
河岸侵食防止工



・堤防が流水で掘れないように防止する
・洪水時の流水が乱れないようにする

《質的整備》

浸透対策を必要とする箇所の抽出



・堤防内に浸透した水の水位を下げる

利水・環境

美しい水辺を取り戻し人と自然にやさしい川づくり

水質

- 河川環境の監視及び整備への取組
→天神川水系水質汚濁防止協議会等との連携強化による現状の水質維持に努めます。

利水

- 河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持

目標

「天神川治水調整協議会」や「天神川治水情報交換会」等の活用による体制を充実します。

環境

- 川に草木類が繁茂
→礫河原に生息する河原固有の生物(イカルドリ・ツルヨシ等)の減少により、本来の河原環境を失いつつあります。
→水面の見えない川らしくない河川景観になっています。
- 堰などの横断工作物や堆積土砂
→魚の移動の妨げや、瀬・淵の埋没による河川の単調化が見られます。

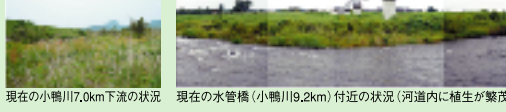
目標

豊かな自然環境を後生へ継承します
→自然の営力を活用した瀬・淵の保全
→かつて有していた礫河原など、本来の自然環境の再生
→水面と礫河原のバランスのとれた河川景観の回復
→回遊性魚類等の瀬上・降下環境の改善



昭和40年以前の小鴨川7.0km下流の状況

昭和40年以前の水管橋(小鴨川9.2km)付近の状況



現在の小鴨川7.0km下流の状況

現在の水管橋(小鴨川9.2km)付近の状況(河道内に植生が繁茂)

自然再生への取り組み
河道内の樹林化を抑制し、天神川水系の河川を、昔の礫河原が多く見られ、多様な動植物が生息・生育していた空間へ回復することを目指します。

皆様のご意見をお待ちしています。

※切り取り、切手を貼らずに投函して下さい。

※お預かりしました、ご意見は当該の目的以外に使用することはありませんが、資料、広報目的で使用する場合は一部文章の修正等を行う事がありますのでご了承下さい。

天神川水系河川整備計画(原案)の内容についてご意見をお聞かせ下さい。

河川整備(治水)の目標と実施内容について

- 目標 / 戦後最大の伊勢湾台風洪水や平成10年台風洪水を安全に流します。
- 主な内容 / 樹木伐開や掘削を行い洪水の流れを良くします。
築堤を行い洪水の氾濫を防止します。
護岸整備を行い堤防や河岸を洪水から守ります。

河川整備(利水・環境)の目標と実施内容について

- 目標 / 天神川本来の川らしい姿の回復と清潔な水質の保全により親しみやすい水辺の創出に努めます。
- 主な内容 / 樹木伐開や中州の掘削によりレキ河原の再生を目指します。

河川利用ほか川づくり全般について

清掃やイベントなど川を通じた市民活動、流水の正常な機能維持や水利用ほか、自由なご意見をお聞かせ下さい。

河川利用

人が集い地域に活力を創造する川づくり

現状と課題

- 川に草木が繁茂
- 水辺へのアクセス性が低下し、人と川のふれあいの場の減少
- 河川敷利用が活発(5箇所に整備された「水辺の学校」での環境学習等)

目標

地域の活力を創出する、人と川のふれあいの場の確保に努めます
→地域ニーズに応じた親しみやすい水辺の創出
→天神川を通じた地域連携活動

地域連携活動

現在の活動

- 天神川流域会議:鳥取県中部地域の交流の活発化
→天神川フォトコンテストの開催
→天神川流域ウォークの実施 など
- 天神川流域一斉清掃:河川美化啓発、モラル向上
→河川敷の除草・清掃 など

【基本方針】

- ・天神川を軸とした地域交流の活発化
- ・情報共有、啓発活動の展開

現在の広報手段

- 治水・利水・環境に関する情報を共有し双方向のコミュニケーションを図っています。
→事務所のホームページ
→広報誌「くらしよし」など

今後の活動・広報の手段

- 活動
→環境学習等次の世代への天神川の恵まれた自然を引き継ぐための活動等を支援します。
→河川愛護思想の普及・啓発活動支援をします。
- 広報
→地域の方々へ積極的な広報活動を回り、住民の意見、要望を踏まえた整備に取り組みます。

ご協力ありがとうございました。